

セッションビューからアレンジメントビューへの録音

Liveでは、セッションビューでの演奏をアレンジメントビューに録音することができます。この録音は、Liveに特有の制作手順のひとつです。録音中は、クリップやシーンの再生のほか、フェーダーの変更や、デバイスのパラメータの変更などを行います。

録音の準備

停止ボタンをダブルクリックすると、再生位置がアレンジメントビューの最初に戻ります。オートメーションアームと呼ばれるボタン[⁸]を有効にしておくと、デバイスのパラメータの変化を記録することができます。



アレンジメントビューへの録音

アレンジメントビューに録音するボタン[●]を押してから、クリップやシーンを再生し、デバイスのパラメータを変更します。すべての操作がアレンジメントビューに記録されます。



操作画面の表示／非表示を切り替える

操作画面を切り替えるボタン [≡] [☰] を押すか、コンピュータの [Tab] キーを押すと、セッションビューとアレンジメントビューを切り替えることができます。



アレンジメントビューをふたたび再生する

セッションビューのクリップを再生していて画面をアレンジメントビューに切り替えると、アレンジメントビューに録音されたクリップが灰色表示になっています。アレンジメントビューに録音されたクリップを再生するには、そのための操作を行なう必要があります。

アレンジメントビューに録音されたクリップを再生するには、オレンジ色に点灯しているボタン[▶≡]をクリックします。



記事: セッションビューからアレンジメントビューへの録音(英語)

【参考情報】Sonic Bloomというウェブサイトで、セッションビューのクリップをアレンジメントビューに録音する方法について読みやすくまとめた記事が掲載されています。



[【記事】セッションビューからアレンジメントビューへの録音\(英語\)](#)

Don't Panic! From Session to Arrangement(英語)

Loopopによる動画では、セッションビューのクリップをアレンジメントビューに録音する工程がはっきりと説明されています。今回の授業中に行う課題の参考動画として使用すると効果的です。



【動画】[Don't Panic! From Session to Arrangement](#)(英語)